ことばの 学校

★★ 中上級

キムの英語で社会を変えよう!

English for Creating Social Justice

世界のさまざまな地域で貧困や環境汚染、人権侵害などの社会問題が深刻になっています。 しかしその一方で、よりよい社会を創るための草の根の取り組みもどんどん広がっています。 このクラスでは、インターネットのオルタナティブ・サイトやブログ、ビデオや映像など、 多様な英語のコンテンツを読んだり鑑賞することで、インスピレーションを得ながら、みん なで議論します。会話やエッセーを通して、自分の意見や主張をはっきりと伝える力もつけ ていきましょう。毎回、さまざまなテーマを扱いますが、受講生からのトピックスの提案も 大歓迎。皆さんのご参加、楽しみにしています!

■2013年5月~12月 ■基本的に隔週火曜日 19:00 ~ 21:00

■全14回/定員15名 ■受講料:38.000円

キンバリー・ヒューズ

(フリーライター/翻訳家/大学講師)



日和	2	III	
5月	14,28	9月	17
6月	18,25	10月	1,22
7月	9,23	11月	5,19
8月	6	12月	3,17



David Shankbone



★ 初中級

ジェンスの英語で発信!

自分の意見や思いを英語で発信するチカラを一緒にみがきませんか。このクラスでは、「読む・ 書く(発信する)・話す」を一連の流れとして、英語を学んでいきます。クラスで議論して決め たテーマで受講生が簡単な文章を書き、その文章についてみんなで議論します。講師は議論 の中で、実用的な語彙や文章の書き方、上手な表現のコツなどを伝授。自ら発信するための 基礎力づくりを、丁寧にサポートします。扱うテーマは食べ物や日常のニュースから、平和 や環境、教育などの社会問題まで。メールやブログ、ホームページなどでの発信もめざします。

■ 2013年5月~11月 ■ 隔週木曜日 19:00~21:00

■全14回/定員15名 ■受講料:38.000円

ジェンス・ウィルキンソン



日 程	
5月 16,30	9月 5,19
6月 13,27	10月 3,17,31
7月 11,25	11月 14,28
8月8	



2012年度のクラスの様子。クラスでは毎回一つのテーマ で短い作文の発表を行い、ジェンスさんがそれぞれの作文 やテーマに関連した表現について丁寧にアドバイスします



世界のニュースから 国際情勢を読み解こう

★★ 中 級

インターネットや雑誌、新聞の英文記事を読み、その背景も学びながら日本語で議論するク ラスです。 開発と貿易、紛争と人権、労働、環境やエネルギー問題など、国際的なトピック から、参加者とともにテーマを選んでいきます。英語の文章を読み解く力、日本語らしく訳 す力、そしてあふれる情報を判断する力を身につけると同時に、さまざまなものの見方や考 え方に出会うことができます。

■2013年5月~2014年1月 ■隔週火曜日10:30~12:30

■全15回/定員15名

■受講料:40,000円



井上礼子 (パルシック代表理事)

(ジャーナリスト/活動家)



(都留文化大学他 非常勤講師)

日 程	
5月 28	10月 1,15,29
6月 11,25	11月 12,26
7月 9,23	12月 10
9月3.17	1月 7.21

※各講師が4~5回ずつ担当します。



武藤一羊の英文精読

講師とともに、一冊の本をじっくりと読み込むクラスです。ことばの一つ一つの解釈やそこ に込められた作者の思想を読み解きながら、講師と受講生で内容について議論を深めてい きます。今年は、汪暉(Wang Hui)の『革命の終わり一中国と近代の限界』("The End of the Revolution—China and the Limits of Modernity") を読みます。

■全15回/定員15名

■2013年5月~2014年1月 ■隔週水曜日19:00~21:00

■受講料:45.000円

武藤一羊

(ピープルズ・プラン研究所 運営委員)



◆ テキスト: Wang Hui, "The End of the Revolution—China and the Limits of Modernity" Verso, 2009

※テキストは事前に各自でご購入ください。

今年は中国の第一線の近代思想史家、評論家として知られる汗暉(Wang Hui)の評 論集、"The End of the Revolution—China and the Limits of Modernity" を読んでみ ます。汗暉は日本でも世界でも最もよく知られた中国の批判的知識人の一人。1989 年天安門民主化デモを主導した改革思想が、結局アメリカに回収される近代主義で あった苦い教訓を噛みしめて、学問世界に戻った一群の知識人の一人でした。図書 館に戻った汪暉は、中国思想史にとりくみ、その成果が大著『中国現代思想的興起』 に結実しましたが、彼は「象牙の塔」に籠らず、夥しい評論や編集活動をつうじて、 今日のネオリベラル資本主義に対決する立場からの中国近代=中国革命の批判的総 括へと歩みを進めました。この本は2009年発行、「非政治化された政治―東から 西へ」、「1989年と中国におけるネオリベラリズムのルーツ」など3編7論文からな る論文集。中国がもっぱら、台頭する軍事的脅威として演出されている現在、汗暉 の洞察と分析によって中国の別の姿を浮かび上がらせたいと思います。

●主著:『潜在的核保有と戦後国家-フクシマ地点からの総括』社会評論社 2011/『アメリカ帝国と戦後 日本国家の解体 新日米同盟への抵抗線』社会評論社 2006 ●共訳書:ジャイ・セン他『世界社会フォー ラム 帝国への挑戦』作品社 2005

5,	月	15,29
6 ,	月	12,26
7,	月	10,24
9 ,	月	11,25
10.	月	9,23
11,	月	6,20
12.	月	4,18
1,	月	15

PARC FREEDOM SCHOOL